

2024年8月13日
株式会社気象工学研究所

タジキスタン共和国との ダム流入量予測システム開発に関する合意書締結について

2024年8月9日、当社は、タジキスタン共和国の水文気象庁と、ダム流入量予測システムの開発に関する合意書を締結しました。

本合意書は、同日にカザフスタン共和国の首都アスタナにおいて開催された「中央アジア+日本」ビジネスフォーラムの一環として締結したものです。

当社は本合意書に基づき、黒部川を対象に開発した降雨・融雪・流出モデル（以下、本モデルという）※を、水力発電が盛んな同国のダムおよび水力発電所に展開し、2024～2025年度にかけてダム流入量予測システム（以下、本システムという）を開発します。

本システムは、降雨に加え、融雪の予測結果を流出に考慮し、水系に流れ込む水量や時期の予測精度を向上させるものです。山岳地域で寒冷な気象が黒部川水系と類似する同国のダムおよび水力発電所に本モデルを展開することで、水力発電所の運用効率化による水力発電量の増大、下流域に位置するウズベキスタン等灌漑用水の安定的な確保、さらには中央アジア諸国のカーボンニュートラルの実現等に貢献してまいります。

※：2018年度に株式会社気象工学研究所、関西電力株式会社および株式会社ニュージェックが共同で、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の受託研究として開発。

プレスリリース https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/0918_2j.html

同国に展開する「降雨・融雪・流出モデル」の概念図

